

JFC Cutting Edge セミナー part 6

日時 2020年1月24日(金) 12:30-13:30

会場 第8会場(東京国際フォーラム1階 ホールD1)

座長



中京眼科
市川 一夫先生

本セミナーでは昨年JFCから発売された2機種について取り上げます。近年、後眼部OCTは急速な発展を遂げ今や眼科診療に不可欠な機器となりました。

一方、前眼部OCTは前眼部の様々な形態や機能の解析に用いられてきましたが、眼科診療において後眼部OCTほどの必要性は認められませんでした。この度、ハイデルベルグエンジニアリング社より発売されたアンテリオンはこれまでの前眼部OCTの既成概念を変え、前眼部診断の中心的器械となる可能性があります。

SS-OCTに加え同社の後眼部OCTで培ったオートトラッキング技術や画像処理技術により、高精細で再現性の高いOCT画像が取得できます。さらに今後の様々な画像解析や定量化により、角膜形状解析、前眼部疾患の診断はもとより、屈折矯正手術、緑内障診断、白内障・水晶体の診断、

IOLの度数計算など様々な用途に用いることが可能となるでしょう。

今回はアンテリオンをいち早く導入された岡義隆先生に様々な使用方法、症例などについてご講演いただきます。

また、秦誠一郎先生と市川慶先生にはMynosys Cellular Devices Inc.のZEPTO®についてご講演いただきます。本器は白内障手術における前囊切開をより容易に高い再現性で行うための機器であり、FLACSでも難しかった過熟白内障のCCCやチン小帯の脆弱な症例など特殊症例においても高い精度のパフォーマンスをもたらす、白内障術者の必需品となる可能性があります。

3人の先生方のご講演が機器導入のご検討のヒントになることを期待いたします。



演者

岡眼科クリニック
岡 義隆先生

すぐく使える!

超高精度前眼部OCT アンテリオン

OCT最高峰メーカーのハイデルベルグエンジニアリング社が満を持して登場させた超高精度前眼部OCT「アンテリオン」。より多くのBスキャン数と独自のオートアイトラッキング機能により得られるOCT画像は非常に高精細かつ精緻で、まさしく従来のものを圧倒する精度です。画像が精密であるということは、様々な計測や描出がより正確になり、測定値も信頼性が高くなります。さらに同時に光学的眼軸長測定も可能となり、白内障手術などを含む、臨床上的利用価値が飛躍的に向上しました。多焦点眼内レンズ手術などのより精度が求められる手術には欠かせないマシンです。

前眼部OCTの概念を変えるアンテリオンを実際に使用したインプレッションを皆様にお伝えしたいと思います。



演者

総合青山病院 眼科
中京眼科
市川 慶先生

ZEPTO®の使用方法和基礎実験

Mynosys Cellular Devices Inc.の開発した前囊切開装置ZEPTO®が2019年8月に厚生労働省の承認を受け、国内でも一般臨床への使用が可能となった。ZEPTO®はこれまでの連続前囊切開(continuous curvilinear capsulorhexis:CCC)やフェムト秒レーザー前囊切開(femtosecond laser-assisted capsulotomy:FLC)とは異なるprecision pulse capsulotomy(PPC)と呼ばれる独自の方法で前囊切開を行う機械である。その独自の方法で行う前囊切開は他の方法と異なる特徴的な組織学的構造を生み出す。今回機械のセッティング方法やZEPTO®による走査電子顕微鏡の組織学的構造と他の前囊切開との組織学的構造の違いの比較、またその組織学的構造により導かれる囊の力学的評価について解説していきたい。



演者

スカイビル眼科
秦 誠一郎先生

ZEPTO®の使用経験

前囊切開の歴史は、囊外摘出の普及と共に発展したが、1980年代にCCC(Continuous Curvilinear Capsulorhexis)が先駆者により開発され、現在においても超音波乳化吸引術、フォーダブルIOL(Intraocular Lens)の普及と共に前囊切開のスタンダードとなっている。また、近年の白内障手術は、視力の改善にとどまらず、視機能を向上させるまでに進化し、適切な前囊切開は、後の手術操作に影響するだけでなく良好な手術成績を得るために重要な要素になった。しかしながら、再現性を向上させるため、デジタルマーカーや前囊染色を用いても、従来からのマニュアルによる方法ではその再現性に限界があり、今後のIOLの更なる進化には追いつかないのが現状である。2019年にプラズマによる新たな前囊切開機器、ZEPTO®が本邦で認可され、術者の「感覚」や「経験」に頼って行われてきた前囊切開の再現性は飛躍的に向上した。本セミナーではその使用経験、利点、問題点について述べる。

HEIDELBERG
ENGINEERING
ANTERION®

Mynosys
ZEPTO®
PRECISION CATARACT SURGERY